

オートレース33期生 さあ出陣、未来のサトマヤ益春菜目指す

剣道3段 田崎

田崎萌(23)伊勢崎
 昨年10月に養成所に入った田崎は、9カ月の訓練期間で定めききと力をつけた。選手資格検定では3秒46の最速タイムタイをマーク。3秒65をクリアできないと選手になれない「最終試験」で、男子の黒川京介、中村杏亮と並ぶ時計をたたき出した。もちろん、女子7人の中では断トツだ。「一つの自信にはなりました」。

加、自分のバイクで走路を走れる企画で、その時に父の目に入ったのが、33期生の募集だった。オートレースは知らない父が「やってみないか」。勝負好きの性格にぴったりはまった。小学校1年から剣道を始めて3段の腕前。「ずっと戦ってきたので、挑戦しようと思った」と当時を振り返る。

選手資格検定 最速タイムタイ
 「一つ一つがすべて身になる感じ。達成感がありました」。懸命な努力が実を結び、33期生トップの勲章を手に入れた。

サトマヤ、益からエール
 女子でただ一人、グレート戦優勝の実績を持つ佐藤摩弥(写真⑤)は、女子33期生のデビューを歓迎している。「うかうかしてられないと刺激になるし、将来的には女子だけのレースも出ると思うので楽しみ。お客さんも喜んでくれるはず」。佐藤と同じモトクロス出身の益春菜(同⑥)も「女子が増えるのは、活性化につながる」と期待する。高橋絵莉子とは同じレースに出場したことがあり、「オートレースで対戦するのは楽しみ。あせらずしっかり取り組んで欲しい」とエールを送った。

男にメスと向かう



女子7人が卒業式
 伊勢崎を筆頭に、金田悠伽(22)浜松)、稲原瑞穂(21)飯塚らが、トップレーサーを目指し出陣する。33期生を代表して中村杏亮が答辞を述べ「同期全員をライバルとして、自らを奮い立たせ、オート界の新たな力になりたい」と誓った。

目指せサトマヤ、益春菜。オートレース33期生の卒業式が3日、選手養成所(茨城県下妻市)で行われ、4年ぶりのデビューとなる女子7人(男子13人)が、先輩選手に並ぶ活躍を誓った。養成所で最速タイムの好タイムをたたき出した田崎萌(23)伊勢崎)を筆頭に、金田悠伽(22)浜松)、稲原瑞穂(21)飯塚)らが、トップレーサーを目指し出陣する。33期生を代表して中村杏亮が答辞を述べ「同期全員をライバルとして、自らを奮い立たせ、オート界の新たな力になりたい」と誓った。



稲原 プラス思考
 ソフトテニス出身
稲原瑞穂(21)飯塚
 父がオートレースファンで、幼稚園の時に川口オート場でレースを初めて見た「かっこいいな」と思いました。父の兄の子

金田 涙をパワ
 トライアスロン
金田悠伽(22)浜松
 高校3年の時、オートレース好きの友人に誘われて浜松オート場へ。衝撃だった二音とか速さとか、しびれましたね。爆音を響かせて平均105kmで疾走

学校からソフトテニスの選手だったが、バイクは未知。養成所は厳しかったが「何も考えず、プラスにとらえて過ぎしました」。山口県の実家と良太郎の家はすぐ近く、小さいころからよく知っている良太郎は「妹みたいな存在で、何をやるにも一緒。オートレースになる夢をかなえたいので、目標を持って1つずつ積み重ねて欲しい」とエールを送った。

◆デビューを迎える33期オートレース選手(♡は女子)◆

選手名	配属	デビュー日	出身	検定T	スポーツ歴ほか
泉田 修佑(いずみだ・しゅうすけ)	川口	7月22日	20 長野	8・54	モトクロス歴12年
稲川 聖也(いながわ・せいや)	川口	7月22日	20 東京	8・58	数学技能検定3級
黒川 京介(くろかわ・きょうすけ)	川口	7月22日	18 千葉	8・46	ポケバイ5歳から
伊勢 正亮(いせ・しょうりょう)	伊勢崎	7月8日	25 群馬	8・49	父正司は選手(伊勢崎)
田崎 萌(たざき・もえ)	伊勢崎	7月8日	23 埼玉	8・46	大型特殊自動車免許
高橋 絵莉子(たかはし・えりこ)	伊勢崎	未定	21 埼玉	8・58	モトクロスレディース年間位
落合 巧(おちあい・たくみ)	浜松	7月8日	20 静岡	8・52	サッカー、フットサル
金田 悠伽(かねだ・はるか)	浜松	7月8日	22 静岡	8・55	水泳インストラクター
花田 一輝(はなだ・かずき)	浜松	未定	18 静岡	8・49	野球、陸上
交川 陽子(まじかわ・ようこ)	浜松	未定	28 大阪	8・57	世界サンボ選手権7位
稲原 瑞穂(いなばら・みずほ)	飯塚	8月7日	21 山口	8・61	叔父良太郎は選手(山陽)
木山 優輝(きやま・ゆうき)	飯塚	8月7日	18 福岡	8・50	野球、サッカー
堂免 沙弥(どうめん・さや)	飯塚	8月7日	24 福岡	8・58	スポーツインストラクター
中村 杏亮(なかむら・きょうすけ)	飯塚	8月7日	21 福岡	8・46	野球
吉川 麻季(よしかわ・まき)	飯塚	8月7日	21 大分	8・61	卓球・九州大会8位
吉松 優輝(よしまつ・ゆうき)	飯塚	8月7日	22 山口	8・52	父憲治は選手(山陽)
青木 隆浩(あおき・たかひろ)	山陽	7月19日	26 岡山	8・59	水泳、軟式野球
佐伯 翔実(さえき・たくみ)	山陽	7月19日	24 山口	8・51	サッカー
佐々 拓太郎(ささ・たくたろう)	山陽	7月19日	21 山口	8・58	陸上、JTMトレーニング
山本 将之(やまもと・まさゆき)	山陽	未定	26 福岡	8・53	小型1級船舶免許



オートレース選手養成所第33期生卒業式を終えて記念撮影する

◆33期生 女子7人、男子13人の計20人。7、8月にデビューするのは16人で、女子2人と男子の花田一輝(浜松)、山本将之(山陽)が、負傷でデビューが遅れる。3日の卒業式には、リハビリ中の山本を除く19人が列席した。

◆XA部部長 卒業式は通過点であり、オートレースとして切磋琢磨(せつたたくま)して欲しい。1つ上の先輩、鈴木圭一選手が22歳という若さでSG4連続優勝を達成。33期生もオート界をけん引する選手になってくれるよう期待しています。